

底曳網漁業 公表用実技試験問題（専門級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着・収納（3分）

①ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。

②装着物を外し、正しく収納する。

（使用機材） 各自通常使用中の上記装具

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（8分）

①かえる又結び ②巻結び ③もやい結び ④バックスプライス

（使用機材） 長さ2m、中程度の太さのロープ数本

(2) 網針に網糸を巻く（1分）

現場で使用している網針に5mの網糸を巻く。

（使用機材） 通常使用する網針、5mの網糸

(3) 破れ目の補修（15分）

網針と網糸を使い網地の破れ目（L字形、7×8目程度）を修理する。

（使用機材） 網針、網糸、網地

(4) 漁具の製作（10分）

①アイスプライス ②ショートスプライス

（使用機材） 中程度の太さのロープ2本、スパイキ

3. 漁具・漁労機械の操作

※(1)、(2)のどちらかを選択する。

(1) ワーピングエンドの操作（6分）

ロープ50mをワーピングエンドで巻き上げる。この場合、巻揚げの反対側端に5～10Kg程度の錘（鉛錘、鉄錘、サンドバック或いはプラスチック缶に水を入れたもの等）を取り付けておく。

（使用機材） ロープ50m、ワーピングエンド（キャプスタン、縦ローラー或いは横ローラー）

(2) コッドエンド（袋網）の袋閉じ（チョンマゲ）、袋開け作業（6分）

コッドエンド（袋網）の袋閉じ、袋開けを行う。

（使用機材） 操業で使用している網のコットエンド部分（網の天井或いは敷部分を開くものでも良いが、ジッパー式は不可。この場合は目合3～5寸の100掛け、長さ1m程度の網地と直径5～10mmのロープ約2mで代用する。）

4. 漁獲物の処理

(1) 漁獲物の選別（2分）

底曳網漁業で獲れる魚の写真40枚を見て、魚種ごとに選別を行う。（試験地により3種類以上の魚種を組み合わせる。）

（使用機材） 上記漁獲物の写真・・・大日本水産会が用意

以上